



満員御礼！かいぼり報告会を開催



会場は満員状態だった。

水草、水生生物・・・

かいぼり後の変化を報告

3月8日(日)、武蔵野公会堂ホールにて「かいぼり報告会よみがえれ!! 井の頭池!!」が開催された。かいぼり後に井の頭池の自然がどのように変化したのか、水草、魚類、鳥類などの専門家等が調査結果を元に報告した。

大注目のかいぼり報告会

今回の報告会は、昨年のかいぼり以来の大イベントであった。市民の関心が非常に高く350名の定員がいっぱいになり、申込をお断りせざるを得ない状態であった。

演題は全部で5題。最も関心を集めていたのは、林紀男さん(千葉県立中央博物館)の講演である。知られざるミジンコの生態や、「生きもののつながり」



当日の発表内容の一部。
八木愛さん(NPO法人生態工房)水生生物モニタリング結果についての報告

次回のかいぼりへ向けて

今回の報告会では、かいぼりの意義や成果を市民に広く伝えることができた。これまでも本紙などを通してかいぼり後の井の頭池の状態をお伝えしてきたが、今年の冬に予定されている2回目のかいぼりに向けて、より多くの市民の理解を得られるよう、今後も情報発信に力を入れていきたい。

今回の報告会では、かいぼりの意義や成果を市民に広く伝えることができた。これまでも本紙などを通してかいぼり後の井の頭池の状態をお伝えしてきたが、今年の冬に予定されている2回目のかいぼりに向けて、より多くの市民の理解を得られるよう、今後も情報発信に力を入れていきたい。

活躍！かいぼり隊

ロビーには「かいぼりQ&Aコーナー」を設け、かいぼり隊員がかいぼりや池の生きものことなどの質問に対応しました。

ほかにもかいぼり隊は受付や会場の設営などの任務をこなし、大活躍でした。



受付に立つかいぼり隊員



大賑わいのQ&Aコーナー

資料集が無料で読める!

参加者に配布した報告会の資料集のPDF版がホームページでダウンロードできます!ぜひご覧ください。



ぽりさん

3



★Topics

水草保全のための大型水槽を置きました！

かいぼり後の井の頭池に復活した水草を保存するために、東京都西部公園緑地事務所の敷地に大型水槽を設置しました。

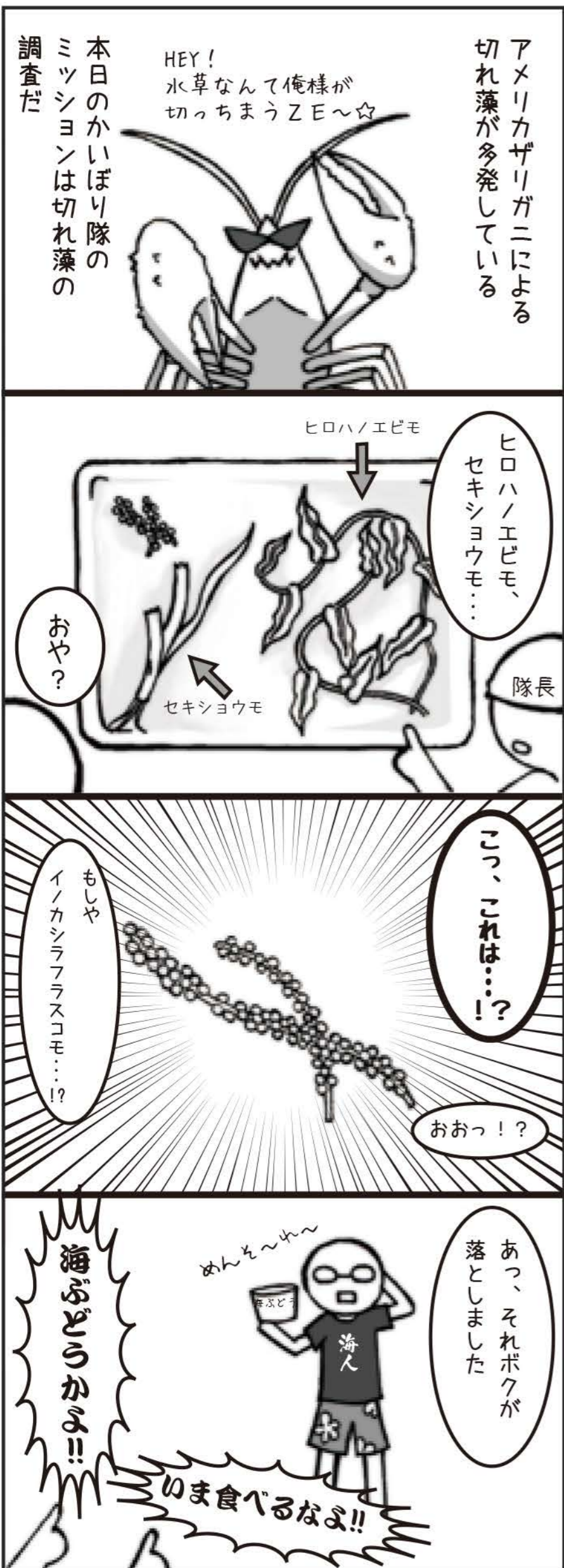
水草は池で保全するのが第一ですが、アメリカザリガニの増加などの影響でもしも水草が消失してしまった場合に備えて、井の頭池産の水草を水槽で保存しておくことにしました。



井の頭コミセンとイベントを行いました！

3月14日、井の頭コミュニティセンター主催の井の頭池の生きもの観察イベントが行われ、かいぼり隊がお手伝いしました。

モニタリングで捕れた生きものを子どもたちが観察し、隊員が解説を行いました。井の頭池の生きものや自然について知る良い機会になりました。



4回目の研修は、かいぼり隊の自主企画によるワークショップだ。隊員から企画委員を募り、チームの検討からスタート。今年度力を入れて取り組んできた普及啓発活動をテーマに決めた。普及啓発活動は大事な取り組みであるが、どの年齢層に対して、どんな内容を、どのくらい伝えればよいか、隊員によってさまざま考え方があふれる。今回の研修で各々の意見を出し合い、皆で共通理解を作ろうというのがワークショップの狙いだ。研修で話し合われたことが、今後の普及啓発活動で活かされていくことに期待したい。

3回目の研修は、東邦大学の西廣淳さんを講師に招いた。西廣さんは、千葉県立中央博物館の林紀男さんと共に井の頭池の水生植物の再生や保全の研究に取り組んでいる。水草の巧みな生存戦略や、その保全回復のための活動話に、隊員一同真剣に聞き入っていた。大変分かりやすくお話しいただき隊員の印象に強く残ったようだ。

いけいけ! かいぼり隊

イケメン イケガール
~池男 & 池女、研修に勤しむ! の巻~

かいぼり隊員のスキルアップ研修 第3弾、4弾を行った。

